

令和2年度 江戸川区立南小岩第二小学校 学校関係者評価 報告書

<p>学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考える子 ○ 思いやりのある子 ○ 健康な子 	<p>目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像</p>	<p>「温かい心(敬愛・思いやり・感謝)」「確かな学力」「地域への貢献性」を育てる学校 ○よく聞いて、見て、話し合っ、体験を生かして考える子。互いに助け合い、人、物、自然を大切にすること。心身ともにたくましく、めあてももってねばり強くやりとげます。 ○子供を育む信念をもつ教職員。児童・保護者・地域の人々、社会、自然とのかわりの中で、様々な課題に気づく教職員。課題を解決するために、主体的に考え、新たな発想を生み出すことのできる教職員。考えや発想を適時に実践に移すとともに、自己評価を適切に行い、研鑽する教職員。</p>
<p>前年度までの学校経営上の成果と課題</p>	<p><成果>校内研究による、児童の自分の考えを表現する力の向上。体験的活動、図書館活用の推進。児童の運動意欲の向上。学校の安全管理体制の強化。 <課題>挨拶運動の推進による、挨拶意識の一層の向上。各教科における、基礎基本の定着及び主体的、対話的で深い学びの実践。校内の文字環境の整備。特別支援教育の一層の促進、保護者への周知、PR。</p>	

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		来年度に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
特色ある教育の展開	①小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	連携プログラムを踏まえた学習指導の実施・食育を柱にした連携、毎学学期実施	全教職員実施、保護者への周知70%以上	A	B	○よつばメニュー、中学教員理科授業、連プロ意識した算数	A	コロナ禍の件間指導計画とし、ICTを活用した子供たちの連携を期待したい。	計画に柔軟性をもたせできる活動をすすめていく。
	②体験的活動の推進	縦割り班活動、高齢者とのふれあい、ボランティア活動の推進、鼓笛隊の実施、外部人材の活用	縦割り班活動毎月、外部人材活用年1回以上、清掃朝会毎月、鼓笛隊高学年全員参加、	実施率100% 保護者満足度85%	B	B	○鼓笛、2学年特活行事、GTによる授業の実施 →制限中での工夫	A	外部への発信、屋上利用や学級単位での活動等の今後も工夫を期待する。	ねらいの達成に向けて見直しをもち工夫していく。
	③あいさつ運動の推進	あいさつ運動の取り組みを通した、言語環境・文字環境の整備及び思いやりの心の育成	あいさつ運動(あいさつ名人)の全校年間実施、児童による自主活動	挨拶実施の意識児童80%以上、 保護者満足度80%以上	A	A	○あいさつ名人、6年生の自主的なあいさつ運動隊 →校外での挨拶の充実	A	挨拶の習慣は保護者も積極的になるよう学校だより等で促しの継続をしてほしい。	大人の率先垂範から高学年、中低学年へとつなげていく
教員の資質向上	④教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	教員研修毎学学期実施。デジタル教科書、電子黒板等を毎日活用	実施率全教員100% 保護者への周知80%以上	B	B	○デジタル教科書、タブレット、チームズ、ICT支援員の有効活用	B	新しい授業ツールとして効果的に活用しつつ、「思いやりのある子」が薄まらないように期待する。	新旧ツールを効果的に使用し効果的な授業をすすめる。
	⑤特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	特別支援連研修年3回以上実施、全学級での個別指導の充実	特別支援研修会全員参加 関係保護者満足度85%以上	A	A	○担当の連携が生き、個に応じた支援の充実 →該当保護者への理解推進	A	支援は大変なことで全力で対処されていること考える。HPからもよく分かる。	全教職員の共通認識と早期対応をすすめる。
	⑥校内研修の活性化	授業観察、校内研究(教育課題実践推進校)、若手研修、伝達研修等による教職員の授業力の向上	全教職員による研究授業、若手研修受講又は指導全員、伝達研修の実施	教職員実施率100% 保護者満足度90%以上	A	A	○校内研究他、日常の相互の研修の充実 →校内研究の質の向上	A	教職員の学ぶ意欲は児童に伝わる。ベテランと若手の交流にもなるので、さらなる充実を願う。	教員個々が学んだ内容を実践し、評価しさらに改善していく。
いきいきと学ぶ教育の充実	⑦確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習等による指導の充実と授業力の向上	補習実施各学級年35回以上、プランに基づく授業改善	補習実施率100% 保護者満足度85%以上	B	A	○校内研究を生かした授業の実施 →授業と補習の連動	A	授業の充実の他、補習と家庭学習の充実を強化していくことを期待する。	授業と補習の連動、反復学習の習慣化を進める。
	⑧読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実・読書カードの活用など、探究活動、探究的な学びの充実・学校図書館を使った授業の推進	読書科、朝読書週2回、読書週間年2回、目的読書及び探求的活動の推進	実施率100% 保護者満足度90%以上	A	A	○毎月の団体貸出で常に多彩な本との出会い →探究的な学びの充実	A	少人数ブックトーク等コロナ禍での新たな挑戦を評価する。	読解力・分析力・情報収集力等を他教科に生かしていく。
	⑨体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	二小タイム10分間運動毎週、外遊びの奨励年間、10月から持久走、大綱大会の継続練習	実施率100% 保護者満足度90%以上	B	A	○体育行事に向けた取組の達成感 →不十分な運動量の改善	A	行事は児童のモチベーションアップになる。工夫した活動での体力向上を期待する。	柔軟な計画により、運動量の確保、運動意欲の向上を図る。
	⑩オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	全学級でのオリパラ教育、毎学学期実施 外部講師の活用、年2回	各学級で完全実施 保護者への周知70%以上	B	B	○アスリートによる授業の実施 →レガシー教育の充実	B	世界のことを学ぶよい機会である。オリパラ後も続けてほしい。	レガシーを味わえる活動を工夫していく。
	⑪外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	EnglishRoomの整備、教材の充実、教員の授業力の向上及びALTとの効果的な連携	保護者の満足度80% 学校関係者評価A	A	A	○ALTと担任の連携の充実 →ITリソースの活用	A	ALTと教師の連携を大切にし、児童が楽しく学べるよう工夫してほしい。	外国語の利用促進とイングリッシュルームの活用を図る。
	⑫基礎基本の徹底	ベーシックドリル・eライブラリアドバンス等を活用した基礎基本の徹底、保護者との連携	ベーシックドリル毎学学期実施、二小スタンダードの徹底、基礎タイムの実施、家庭学習習慣の確立、	全学級での実施率100% 保護者満足度85%以上	A	B	○ベーシックドリル等の活用による学力の充実 →家庭学習の習慣化	A	基礎の充実は大切である。読解力の向上、家庭学習の習慣化をすすめてほしい。	二小スタンダードの定着と反復学習の習慣化を図る。
相談体制健全育成の充実	⑬いじめ・不登校等の対応	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実	把握時点での即時情報共有、生活指導連絡会毎週(金)、いじめ防止授業・SNS東京ルール毎学学期実施、	共有率100% 当該保護者満足度90%以上	A	A	○未然防止、早期発見、早期対応の充実 →さらなる信頼関係の構築	A	個々の対応は難儀と思うが、日々の生活の中から情報を早く把握し、対処してほしい。	道徳の推進、全教職員による未然防止・早期発見と対応をすすめる。
	⑭いじめ・不登校等の対応	スクールカウンセラー等との連携による相談体制の充実～チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	必要に応じた対策委員会の即時実施、第5学年児童全員面接の実施	事実把握後、速やかに対応策を検討、1週間以内に行動、全員面接実施1学期中	A	A	○スクールカウンセラー他担当と担任の連携による対応の充実	A	組織的には早期発見、早期対応から早期解決を願う。	様々な窓口があることについて、児童・保護者への周知をすすめる。
	⑮道徳教育の推進	全教育活動に位置付けた道徳教育の推進 道徳授業地区公開講座での啓発	道徳教育計画に基づく完全実施、全学級授業公開、特別の教科道徳の確実な実施、全学級毎月各種訓練の実施、毎月安全点検に基づく修理、玄関等の施設徹底、週ごとの指導計画への安全管	実施率100% 道徳教育に関する保護者満足度85%以上	A	B	○道徳ノートによる積み重ねと振り返りによる成果 →実生活に生きる道徳授業	B	教材の内容を自分に置き換えて考えさせてほしいと思う。児童の行動につなげたい。	自分を振り返る学習を大切に、実生活につながる道徳にしていく。
その他	⑯安心安全な学校づくり	危機管理マニュアル(災害、けが、アレルギー等)に基づく全職員の協力体制、校内危険箇所への速やかな対応	毎月各種訓練の実施、毎月安全点検に基づく修理、玄関等の施設徹底、週ごとの指導計画への安全管	実施率100% 保護者満足度90%以上 学校関係者評価A	A	A	○毎月の避難訓練と安全点検、不具合箇所の早期対応 →危機管理意識の向上	A	感染症対策を含めた点検と対応に安心する。今後も危機管理意識を継続してほしい。	常に最悪の事態を想定した未然防止策を考えていく。
	⑰地域との共育・協働	PTA活動、地域行事への積極的な参加、HP等による情報公開・保護者への授業公開の推進、学校応援団との連携	全教員1回以上参加・協力、HPの更新毎週、保護者への授業公開、学校応援団との連携毎学学期	保護者満足度90%以上 学校関係者評価A	B	B	○PTA、町会とのできる限りの連携ができた。 →ホームページの定期的更新	A	各部署と、新しい生活様式の下で行えることを工夫していく。	ホームページの更新を確実に実施していく。
	⑱働き方改革組織力の向上	C4thの積極的な活用、学校予算の計画的な執行、文書起案・ラインによる進行管理の徹底、週ごとの指導計画に基づく教育活動	全教員1回以上参加・協力、HPの更新毎週、保護者への授業公開、学校応援団との連携毎学学期	保護者満足度90%以上 学校関係者評価A	A	A	○C4th、SSSの有効活用による労働時間の短縮化 →さらなる充実と組織力の向上	A	エッセンシャルワーカーである教職員に感謝するとともに、健康には注意してほしい。	組織を活用し、残業時間の縮小をすすめていく。